

放課後等デイサービス自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月4日

事業所名：登別市児童デイサービスセンターのぞみ園

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		行事等、内容によっては園外での活動を実施。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年に一度、保護者向けのアンケートを実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者が常時閲覧できるよう、事業所内に結果を掲示。また、登別市のホームページにも結果を公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に事業所内で研修を実施。また、法人独自の研修や外部研修にも参加。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			利用児童の状態に合わせてアセスメントツールを使用し、発達や身体の状態を確認。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず職員間での打合せを実施。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			打合せは設定していないが、その都度、振り返りを行い職員間で確認。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			必要に応じて利用児童の担当職員や専門職員が参加。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			担当者が定期的に訪問や電話連絡等で連携し、状況確認や情報交換を実施。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			必要に応じて専門職員が電話連絡等にて医療機関と連携。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			保護者や事業所から依頼があった際は、その都度、会議や文書等にて情報提供等を実施。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		専門機関の研修に参加。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	プログラムが平日の短時間となっているため、他との交流は難しい。実施可能な方法について検討が必要。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者が参加。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングは実施していないが、保護者同士の交流会の場を設定。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に保護者から聞き取りを行い、必要に応じて助言等の支援を実践。相談内容に応じて専門職員が対応。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			地域の父母会の活動に参加。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月に1回、お便りを発行し、行事予定や連絡事項などを発信。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			他機関へ情報提供する際、保護者の同意を確認。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを策定し、園内の閲覧しやすい場所に設置。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年1回以上、各グループ毎に避難訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回以上、虐待防止に関する研修に参加。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束を行う可能性があるお子さんについては、個別支援計画書に記載し、保護者の同意を得た上で実施している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	指示書はないが、必要に応じて保護者から確認。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例が生じた際は文書を作成し、職員へ回覧後、ファイルへ綴る。ファイルは、職員が自由に閲覧できる場所へ保管。